

大空 —放哉だより—

第148号 2023.12.5

発行:小豆島尾崎放哉記念館 〒761-4106 土庄町本町甲 1082 ☎62-0037

第23回放哉ジュニア賞

締め切り:2023年12月15日(金) 必着

【主催】「放哉」南郷庵友の会・小豆島尾崎放哉記念館 【対象】郡内の小中学生および鳥取市立修立小学校
 【問い合わせ先】「放哉」南郷庵友の会事務局 62-0327・小豆島尾崎放哉記念館 62-0037



入庵食記より(大正14年12月の内容を一部抜粋)

19(4)同様

四日モ五日モ 昼夜北西ノ風吹キマクリ水ヲマケバ氷リコン
 ナ風強クテ寒イ処、始めて也

20(日)(5)同様

(塩アミ)ヲ求ム大ニヨロシ
 今日ヨリ豆腐ヲヤメル、
 (冷ドーフ)ガツメタクテ、タバラレヌ為也

22(7)同様

昨夜大暴風、
 島ノ風ニハアキレカエル、コンナ処ニ住ンダ事今迄ナシ、四日
 デモ五日デモ昼夜ブツ通シ吹キツメ也、シカモ北西風之デ
 狂人ニナラヌモノハ、鈍感ナリ、馬鹿ナリ 呵々

23(8)同様

烈風又烈風、暴風又暴風、昼夜ヲ分(カ)タズ 四日デモ五日デ
 モ一週間デモ平気デ吹キマクル、冬中コレノ由(わけ)、トテ
 モタマラン、
 夜、障子ニ、砂利ヲ叩キツケル音、ヤカマシヤカマシ(雨戸ハシ
 メヌ決心故ニ)

24(9)同様

烈風又烈風、

25(10)同様

無風、風オツ、生キノビタリ、
 但又、タツター日デ烈風ナランカ 呵々

※日付の横にある「同様」は、これら以前の内容から「お粥」のこと。

入庵食記には、12月から3月下旬頃まで、「烈風」という言葉が多く見られます。「強風」「風が強い」という言葉はよく使うと思いますが、「烈風」はあまり聞きなじみがないように思います。極めて激しい風、猛烈な風という意味だそうです。

また、知人らに宛てた書簡の中にも「…西北一面ニ開いてるたんぼの風がモロニ吹き付けるのですから、ソレニ庵の中ハ荒壁半分天井無しと来てますから、風は、ドコからでもえんりよ無く、ヒューヒュー入つて来ます、……実ニコノ毎日毎日昼も夜もブツ通して根気よく吹く烈風と、其の寒いには、……放哉ホントに、ちびみ上つて居ります。…」「…庵ノ例ノ荒壁デ、台所ハ天井無シト来テ居ルノダカラ、マルデ、樹下石上(じゅかせきじょう、じゅげせきじょう)ノ野天デ寒風ニサラサレテルト同様也、…」と、あります。

このような放哉の暮らしぶりを知り句を鑑賞することで、より深く理解ができると思います。

※樹下石上…野山や道端で寝泊まりをすることを例えていう。
 ※野天…屋根の無い所、家の外。



日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						
●放哉だより発行日 □記念館休館日 □資料館休館日						

今年も大変お世話になりました。ありがとうございました。来年もどうぞよろしく願いいたします。

どうぞ良いお年をお迎えください。

年末年始の休館日

小豆島尾崎放哉記念館 12月28日(木)～1月4日(木)
 土庄町尾崎放哉資料館 12月29日(金)～1月3日(水)